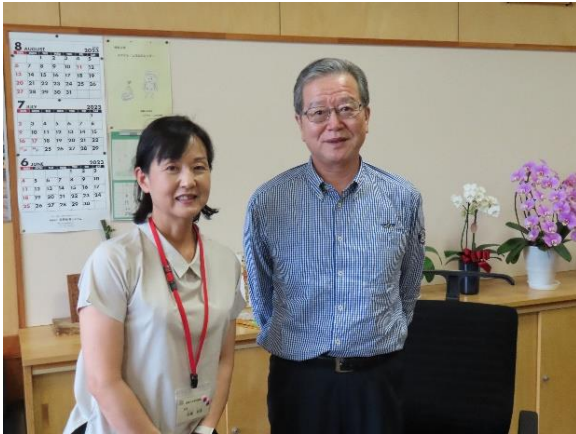


校長先生の日記⑧



4年生の稲作り 頑張ってます！

この日は夏休み前の田んぼの草取りでした。柳本さんを取る草の種類、取り方を教わっていざ！草取り開始。植えた時は小さくて、頼りなかった稲も。膝丈まで伸び、株もしっかり分かれてたくましく育っています。そんな稲の生長を脅かす雑草を、稲を痛めないように移動しながら抜いていきます。「これ抜いていいの？」なんて分からなくなるほど、稲によく似た雑草もあり、雑草は雑草で生きるために必死なんだなと思いました。みるみるうちに稲の列がはっきりしました。土に空気も入って、ここからまた大きく成長するのだそうです。信濃町の米を毎日食べて大きくなっている子どもたちです。作業にも気合いが感じられました。



開校にいたるご苦労をお聞きしました

この信濃小中学校を開校するにあたって、同じように小中一貫の義務教育学校を立ち上げた経験をもつ、郡山市湖南小中学校の当時校長先生だった、齋藤義益先生が、信濃小中学校を訪問してくださいました。

学校を作るにあたって、地域の方に義務教育学校の必要性やよさを丁寧に説明しながら、少しずつ住民の方々の理解を得たというような苦労話をお聞きしました。改めて多くもみなさんの助けを借りて、この学校が創立されたことに、思いを馳せることができました。

そんなみなさんの思いを受け、さらに子どもたちが輝く学校を作っていくことをお誓いしました。

本物の雅楽の演奏を体験しました

笛や太鼓、鼓や笙など日本固有の楽器を使用する「雅楽」を体験しました。1週間程前に、この雅楽のメンバーのみなさんが、楽器の紹介や舞の説明など事前学習を行ってくださいました。今日はその本番の日でした。今日は、メンバー全員が昔の貴族の装束を身にまとい、烏帽子をかぶって登場し、お正月によく聞く曲などを演奏してくださいました。専用の舞台がこしらえられ、そこでの舞も披露されました。子どもたちも始めてみる本格的な「雅楽」に見入っていました。やはり本物に勝るものはなし！子どもたちのために、本物を呼び、準備して下さる先生方の働きに心から感謝です。



研修を積み重ねています

ICTの活用には、先生方個々に力の差があります。それは仕方ないことだと思います。この信濃小中学校では、先生方が安心して、自信をもってICTを使えるように、ミニ研修を定期的に行っています。参加は自由です。必要な先生が参加して、学びます。この日はテストを作成し、クラスルームに配布して、回収、分析、確認という内容でした。この後早速、アンケートを同じようにクラスルームに配布して、給食への意見を集めている先生の姿がありました。私たちも進化していきます。

